

2 導入済みのポイントカード種類

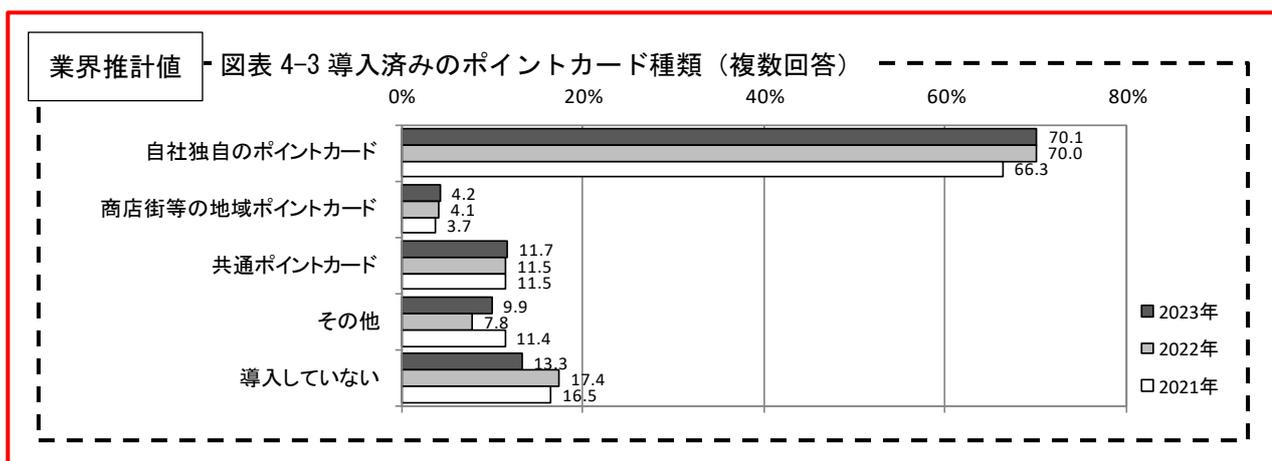
- 導入済みのポイントカード種類は、「自社独自のポイントカード」が70.1%で最も多い。
- 保有店舗数が多い企業では、「共通ポイントカード」が多く導入されている。
- 地方圏では「自社独自のポイントカード」の導入が多い。

導入済みのポイントカード種類は、「自社独自のポイントカード」の割合が70.1%と最も高い。

企業分類別にみると、保有店舗数が多い企業では「共通ポイントカード」の導入率が高い傾向が見られる。また、地方圏の企業で都市圏に比べ「自社独自のポイントカード」の割合が高い。

「その他」の具体的な内容としては、「CoGCaカード※」などが挙げられている。

※CoGCaカード：CGCグループが展開するポイントカード及び電子マネー



図表4-4 導入済みのポイントカード種類（複数回答）/企業分類別

	n	自社独自のポイントカード	商店街等の地域ポイントカード	共通ポイントカード	その他	導入していない	
回答企業全体	274	70.8%	4.0%	13.9%	9.9%	12.0%	
企業分類別	1～3店舗	66	71.2%	4.5%	7.6%	6.1%	16.7%
	4～10店舗	79	63.3%	3.8%	11.4%	15.2%	15.2%
	11～25店舗	50	76.0%	6.0%	6.0%	12.0%	10.0%
	26～50店舗	37	75.7%	5.4%	24.3%	5.4%	5.4%
	51店舗以上	41	73.2%	-	26.8%	7.3%	7.3%
	小規模店舗中心型	93	63.4%	6.5%	10.8%	16.1%	15.1%
	中規模店舗中心型	56	76.8%	-	8.9%	7.1%	12.5%
	大規模店舗中心型	78	78.2%	2.6%	12.8%	3.8%	11.5%
	複合型	35	57.1%	8.6%	28.6%	14.3%	8.6%
	都市圏	65	61.5%	1.5%	20.0%	10.8%	15.4%
地方圏	209	73.7%	4.8%	12.0%	9.6%	11.0%	